

令和8年度 深谷市政

文責：今井けいいちろう
(深谷市議会議員)

令和8年4月

3行でわかる今年度



予算は過去最大規模



子育て・医療を強化



施設更新と財政が課題

結論



物価高で家計が厳しい



理由



食費・光熱費が上昇



補足



事業者もコスト増

深谷市：予算の全体像

過去最大規模

市の全会計総額が初めて

1,000 億円超

📄 一般会計

669.3 億円

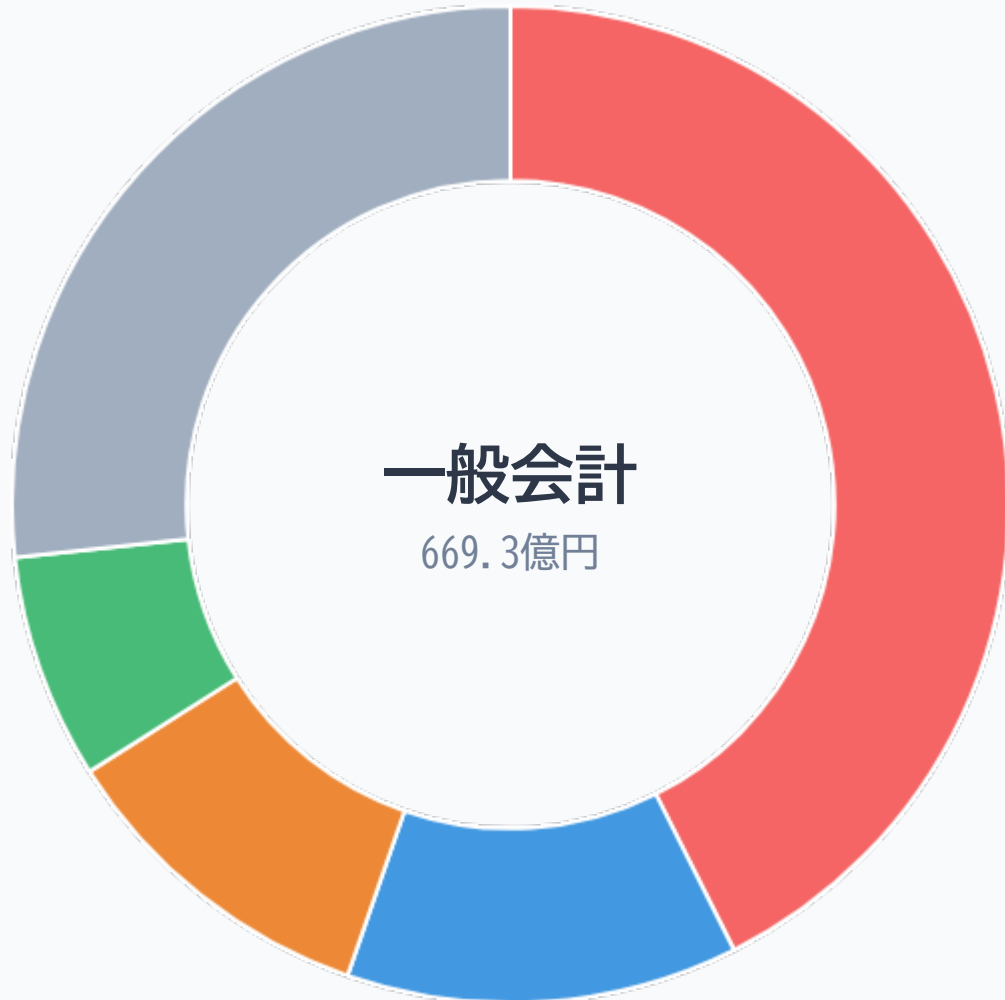
📈 前年比
+2.3%

🏠 全会計合計

1,000 億円超

📈 前年比
+1.8%

予算の使い道



● **民生費 (福祉・子育て)** **42.6%**
保育園運営、障害者・高齢者支援など

● **教育費 (学校・教育)** **12.7%**
学校施設管理、給食、部活動支援など

● **土木費 (インフラ・安全)** **10.7%**
道路・公園整備、コミュニティバスなど

● **衛生費 (健康・環境)** **7.3%**
予防接種、母子保健、ごみ処理など

● **その他** **26.7%**
総務費、商工費、公債費など

子育て支援の進展



保育料の完全無償化

子育て世帯の経済的な負担を大きく軽減します



子ども医療費の無償化

子どもたちが安心して医療を受けられる環境を整えます



0歳児子育て支援金の継続

新しい命の誕生とすこやかな成長を継続してサポートします



こどもふっかパーク 4月開園

子育てを支える魅力的な遊びの拠点が新しくオープンします



不妊治療の助成拡大

対象年齢と助成回数を拡大し、より多くの方の希望を支援します



1か月児健診の新設

医療機関での健診費用を助成し、赤ちゃんの成長を見守ります



RSウイルスワクチン 4/1開始

令和8年4月1日より妊婦を対象に無料接種を開始します



小児オンライン診療

スマートフォン等で手軽に受診できる新しい医療体制を導入します

学校の環境改善

結論



暑さ対策を前進



理由



小学校全19校の体育館にエアコン設置



補足



中学校武道場設計も進行中

安全と交通の整備



原郷上野台線 令和9年度開通

アンダーパス（地下道）の整備を進め、交通の便を良くします



くるリンの再編検討

デマンドタクシー（予約制乗り合いタクシー）の導入を検討します



防災力の強化

激甚化する自然災害への備えや、救急体制のアップデートを行います



道路・河川の整備

生活道路の補修や河川の改修工事により、安全な環境を守ります

課題① 施設老朽化

⚠市の直面する大きな課題

結論



施設の更新・維持費用が増加する
見込み



理由



建設から20～40年経過した施設が
多数存在



今後の
対応



将来を見据えた施設の再編と
優先付けが急務

課題② 空き家と財政

⚠ まちの安全と
将来世代への負担

結論



- ① 空き家の増加
 - ② 将来の借金負担
- が課題



理由



- ① 空き家が1,658件
- ② 市債は約470億円



今後の
対応



- ① 安全対策の強化
 - ② 健全な財政運営
- が必要

数字で見る深谷市



市の人口

140,211人



世帯数

64,542世帯



一般会計予算

669.3億円



公式LINE登録者

約15,200人



今年度の地域通貨ネギー
予算

約20億円



資源回収量

約1,630_t

2026～2027年の主な予定

2026年
4月



RSワクチン開始・園開園

妊婦向けワクチン無料化、こどもふっかパークオープン

2026年
11月



ねんりんピック開催

11/7～10 ゲートボール競技など開催

2027年
上期



アンダーパス開通

原郷上野台線の地下道が開通し、交通利便性が向上

2027
年度中



くるリン新運行

公共交通の再編とデマンドタクシー導入予定

これからの論点

💡 今後の市政における4つの重要なテーマ

計画・
交通



第3次総合計画の策定と公共交通の再編

施設・
費用



公共施設の老朽化対策・再編と費用の抑制

財政
健全化



将来世代に負担を残さない財政運営と税
外収入

市民生活への影響

結論



便利さと安心が向上



理由



子育て・医療が充実



補足



実施日や対象を確認

令和8年度の深谷市政 3つのポイント

1

生活支援を着実に継続

物価高騰への対応と、市民の安心・安全な暮らしを支え続けます



2

子育てと学校を最優先

医療費・保育料無償化や学校環境の改善で、次世代の成長を後押しします



3

更新と財政の両立が鍵

老朽化する公共施設の再編を進め、将来世代に負担を残さない財政を目指します



魅力ある深谷市を、次世代へつなぐために